

令和3年度 釧路市地区の研究活動

研修部長 釧路市立東雲小学校
校長 三上裕生

1 はじめに

釧路市小中学校校長会は、小学校、中学校、義務教育学校合わせて40名の会員で構成されている。釧路市教育推進基本計画・教育行政基本方針に基づき、以下の基本方針のもと、校種別研修会と小学校と中学校が一体となった合同研修会（年4回）、教頭会と合同で行う釧路市学校経営研究協議会（年1回）を主軸に研修活動を進めている。



<基本方針>

- (1) 釧路市小中学校校長会の基本方針を踏まえ、教育改革の推進と教育課題を勘案しながら、校長として職能向上を図るため、組織的研究に努める。
- (2) 道小・道中などの基本課題に基づき、21世紀を担う日本人の育成を目指して、学校経営の活性化と経営の充実に反映する研究を推進する。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防の措置のため、十分な研修時間の確保が難しいが、そのような中であっても、校長としての職能向上のために、一層の連携を深め一枚岩の姿勢で「凛として立つ校長の教育理念と指導性」を目指し教育活動の推進に努めている。

2 研究計画

基本主題の設定に当たっては、①教育改革が多面的に進行する中、時代に対応し、それを実践へと結びつける姿勢を示すこと、②全連小・全日中・道小・道中との関連をもたせつつ、釧路市の独自性を大切にすること、③「経営研究」という視点を明確にすることの3点を基本に据えている。そして、研究分野を「学校経営」「教育課程」「道徳教育・生徒指導・進路指導・健康安全教育」「現職教育」の4分野の構成としている。

(1) 基本主題

「新しい時代や社会の要請に的確かつ先導的に対応できる学校経営の実現」
～道東の拠点、釧路市の特性を生かした学校教育の創造～

(2) 研究の視点

- ① 新しい学校づくりを目指す学校・家庭・地域の連携と校長の指導性
- ② 生きる力を育み創意ある教育課程の編成・実施と校長の指導性

(3) 研究分野・主題

① 学校経営分野（研究主題1）

「時代に対応し信頼と連携を基盤とした創意と活力に満ちた開かれた学校経営の実現」

② 教育課程分野（研究主題2）

「豊かな心や知恵をはぐくむ方略と評価が適切に位置付けられた教育課程の編成・実施・評価・改善」

③ 道徳教育・生徒指導・進路指導・健康安全教育分野（研究主題3）

「命を大切にし、自立心や他を思いやる心をはぐくみ、目的をもって生きることの必要性を実感する道徳教育・生徒指導・進路指導・健康安全教育の実践」

④ 現職教育分野（研究主題4）

「時代の要請に応え、専門性を高め指導力向上を図る現職教育の充実」

(4) 研究推進・事業計画

主な研修事業として、①研修部年間計画の作成、②第65回「釧路市学校経営研究協議会」の開催、③校種別研修会の実施、④小中合同研修会の実施、⑤道小・道中・全連小・全日中大会開催についての情報提供及び参加企画渉外、⑥研修に関する調査研究と資料提供、⑦研修担当者の研修会の実施・研修委員会の計画と実施、⑧釧路市で開催される全国・全道規模の研究会への協力等を推進している。

3 研究活動の概要

(1) 全連小各種委員会調査への協力

(2) 第65回釧路市学校経営研究協議会

- ◇開催日 令和4年1月7日（金）
- ◇場 所 釧路教育研究センター
- ◇主 催 釧路市小中学校校長会
- ◇参加者 総勢45名（助言：釧路教育局・釧路市教育委員会 参加：小中校長）
- ◇提 言 3分科会（小中合同分科会1 小中合同分科会2 小学校分科会）
各2名 計6名による研究提言
- ◇講 演 講師 釧路市教育委員会 外国語教育アドバイザー 平木 裕 氏

(3) 校種別研修会の開催

新しい時代を展望する創意ある学校経営や今日的な教育課題に主体的に対応する学校経営並びに当面する学校経営上の課題等を協議することにより校長としての指導力を磨くことに資する。（小学校年4回、中学校年3回の実施）

この他、例年、小学校は7月に教育関係者との「情報交流研修会」、中学校は11月に退職者講話を中心とした研修を予定しているが、情報交流研修は中止になっている。

(4) 小中合同研修会の開催（年4回 小中校長会時に実施）

- ◇第1回（5月） 特別委員会担当 ～（感染症対策のため中止）
- ◇第2回（9月） 研修部担当 ～（感染症対策のため中止）
- ◇第3回（10月） 経営部担当 ～ 学校の危機管理対策（オンライン研修）
- ◇第4回（12月） 特別委員会担当 ～ 学校におけるLGBTへの配慮に関して

(5) 各種研究大会への参加及び報告

- ◇道小石狩・千歳大会（10名：オンライン、動画視聴及び誌上交流）
第3分科会（評価・改善）で、釧路市立光陽小学校 照井 貴幸 校長が提言発表
- ◇全連小石川大会（1名：誌上交流）
- ◇道中宗谷・稚内大会（2名：オンライン）◇全日中静岡大会（1名：オンライン）

4 おわりに

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、定例の校長会議も時間を短縮したり、リモートで開催したりするなど、例年同様の研修活動が難しい中ではあったが、限られた時間の中でも、GIGAスクール構想の実現や感染症に関わる対応など、情報共有を中心に新たな課題に対する研修を進めた。今後も、校長相互が強い連帯感をもち、関係機関との連携を密にし、校長自ら資質向上に務め、経営改善の意識を高める研修活動に努めたい。